

じいじの暮らごとが大好きです



今年2月から木次町の農事組
合法人・日登牧場で乳牛の飼育・
管理などを行っている藤本^{ひとと}拓人さん
(36才)・直子^{なほこ}さん(33才)。農業従
事者の高齢化・後継者不足が叫ば
れる中、藤本さん夫妻は北海道か
ら移住され、酪農研修に取り組み
れています。

なぜ雲南市へ

6年前まで静岡県で、私は
営業の仕事をして、妻は銀行員を
していました。

私が30歳を迎えたある日、
「思いきって、毎日収穫でき
る農業をやってみよう」と北
海道へ行ったのが農業をする
きっかけでした。

もちろんそれまでは、畜産
の経験がなかった訳ですが、

乳作業や病気の治療など毎日
が勉強でした。

作業はきつかったですが、
やりがいのある仕事でした。

このほか、北海道では牧草
地の管理やサラブレッドの生
産にも携わりました。

その後、もつとほかの地で
も学びたいと思っていた時、
ここ雲南市の求人情報が飛び
込んできたことから、こちら
にきました。

11月での生活は

最初に来た時、戸惑いがあ
りました。

山の急斜面を利用した放牧
場や経営スタイルが、これま
での北海道のイメージと大き
く違っていたからです。

ですが、この牛(ブラウ
ンスイス)の乳質は抜群です
し、何よりここでのオリジナ
ルの牛乳生産にはやりがいを
感じます。

また、妻も子どもも、ここ
での生活を大変気に入って
います。

どんな作業をされていますか

朝は5時前に牧場へ行き、
牛たちに餌をやり、引き続き、
搾乳を行い、牛乳の出荷をし
ます。



それが終わ
ると、畜舎の
清掃作業や放
牧場の見廻
り、草刈り、
牛の健康状態
のチェック、
堆肥場での作
業などを行
います。



「初めてのことはばかりで、日々勉強です」と話してくれた直子さん。授乳の様子

そして、午後4時からまた
搾乳というのが、1日の作業
の流れです。

雲南市の印象は

まわりの美しい山や川の自
然、そして、懐かしい田園風
景や街並み。とにかく、この
自然が気に入りました。

それに、地元の方の人柄が
温厚で、大変親しみを感じま
す。ただ、出雲弁はちょっと
分からない言葉もありますね。

これからは職場でも、家庭
でも地域に密着した、いい関
係が持てるようにしたいです。

今後の抱負

この牛たちの特性を活か
し、良質の牛乳を生産したい。
そして、自分らしい酪農経営
のスタイルを確立させたいと

遊びにきてね



思います。
また、地域の人と積極的に
ふれ合い、この地に根を張っ
て住みたいと思います。
みなさん、山の急斜面を歩
く牛やかわいい子牛たちを見
学に、ぜひこの牧場へ遊びに
きてください。